

## 地域密着型サービス事業者 自己評価表

( 認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所 )

|           |                                                                        |         |            |
|-----------|------------------------------------------------------------------------|---------|------------|
| 事業者名      | グループホーム ゆーあい館                                                          | 評価実施年月日 | 平成21年9月30日 |
| 評価実施構成員氏名 | 高橋義隆 平川摩弥 丸本一子 水口卓也 西尾知佐子 石井香奈美 大谷みどり 上田早百合 斉藤由香 阿部道子 平川佳世子 小金沢るみ子 林千秋 |         |            |
| 記録者氏名     | 水口 卓也                                                                  | 記録年月日   | 平成21年10月5日 |

北海道

| 項目          |                                                                                              | 取り組みの事実<br>(実施している内容 ・ 実施していない内容)                                            | ○印<br>(取組んでい<br>きたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取り組んでいることも含む) |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|------------------------|--------------------------------|
| I. 理念に基づく運営 |                                                                                              |                                                                              |                        |                                |
| 1. 理念と共有    |                                                                                              |                                                                              |                        |                                |
| 1           | <p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>            | 地域の中で支えて行く事業所としての理念をつくり、各所に掲げている                                             |                        | 今後も継続していく                      |
| 2           | <p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>                               | <p>・理念を施設内の見やすい所に貼っている</p> <p>・ミーティングや日頃の話し合いの中で、常に何の為に・誰の為に施設かを確認しあっている</p> |                        | 今後も継続していく                      |
| 3           | <p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>     | 地域の中で暮らして行くことの大切さを運営推進会議を通して理解して頂けるように取り組んでいる                                |                        | 今後も継続していく                      |
| 2. 地域との支えあい |                                                                                              |                                                                              |                        |                                |
| 4           | <p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>      | 近隣の方とは、普通の会話、挨拶など気楽に声掛けをしている                                                 |                        | 今後も継続していく                      |
| 5           | <p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>        | 自治会の行事等に参加したり、地元のサークル活動をされている方などを招いての行事も行っている                                |                        | 今後も継続していく                      |
| 6           | <p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p> | 事業所として地域に対して、どのような貢献が出来るか自治会とも話をしている                                         |                        | 今後も継続していく                      |

| 項目                                                                                                               | 取り組みの事実<br>(実施している内容 ・ 実施していない内容)                      | ○印<br>(取組んでい<br>きたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む) |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|------------------------|-------------------------------|
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用                                                                                            |                                                        |                        |                               |
| <p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>7 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>                            | <p>自己評価を実施することにより、外部評価での改善に取り組んで行き意義のある評価につなげて行きたい</p> |                        | <p>今後も継続していく</p>              |
| <p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>8 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>            | <p>運営会議では、ホームの状況等を報告して、その話し合いの意見を活かしている</p>            |                        | <p>今後も継続していく</p>              |
| <p>○市町村との連携</p> <p>9 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>                              | <p>市町村とは、担当者も参加する地域ケア会議を通して連携を図り向上に取り組んでいる</p>         |                        | <p>今後も継続していく</p>              |
| <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>10 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> | <p>研修等では学んでいるが実際に活用して行く状況でもなく支援はしていない</p>              |                        | <p>今後、必要に応じて支援等を検討していく</p>    |
| <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>11 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>            | <p>地域で行われる研修会や意見交換会への出席をしている</p>                       |                        | <p>今後も継続していく</p>              |
| 4. 理念を実践するための体制                                                                                                  |                                                        |                        |                               |
| <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>12 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>                              | <p>契約時等には重要事項説明書などで十分な説明し居室などの見学をして頂き理解をして頂いている</p>    |                        | <p>今後も継続していく</p>              |

| 項目 |                                                                                                       | 取り組みの事実<br>(実施している内容 ・ 実施していない内容)                                              | ○印<br>(取組んでい<br>きたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む) |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|------------------------|-------------------------------|
| 13 | ○運営に関する利用者意見の反映<br>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。                                 | 利用者から苦情、不満が寄せられた場合はその都度、職員間で話し合い改善している                                         |                        | 今後も継続していく                     |
| 14 | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。                              | ・頻繁に来られる家族へは、その都度現状を説明している<br>・遠方にて、来訪困難な家族には、最低でも月に1回は電話で連絡を取ったり、通信等で様子を伝えている |                        | 今後も継続していく                     |
| 15 | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。                                | 家族からホームに意見、不満等を寄せられた場合は双方での話し合いの場を設けて運営に支障が出ないように努めている                         |                        | 今後も継続していく                     |
| 16 | ○運営に関する職員意見の反映<br>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。                                            | 毎月のミーティング等で問題点など意見や提案を聞く機会を設けている                                               |                        | 今後も継続していく                     |
| 17 | ○柔軟な対応に向けた勤務調整<br>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。                       | 状況に合わせて、人員を配置したりと考慮している<br>入居者の急変時にもすぐに対応できるよう、準備している                          |                        | 今後も継続していく                     |
| 18 | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。 | 異動等は必要最小限に抑えているが、離職の場合は補充は避けられず今後も最小限の配慮をしている                                  |                        | 今後も継続していく                     |

| 項目                        |                                                                                                              | 取り組みの事実<br>(実施している内容 ・ 実施していない内容)          | ○印<br>(取組んでい<br>きたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む) |
|---------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|------------------------|-------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援               |                                                                                                              |                                            |                        |                               |
| 19                        | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>          | 職員には積極的に有資格試験に臨んで頂くと共に、必要な研修は受けることを進めている   |                        | 今後も継続していく                     |
| 20                        | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p> | 地域の同業者とは必要に応じて意見交換等のばを設けて、相互理解を深めている       |                        | 今後も継続していく                     |
| 21                        | <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>                                   | 職場の環境作りに対して、親睦会などを通してストレスの軽減や工夫をしている       |                        | 今後も継続していく                     |
| 22                        | <p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>                       | 職員個々の努力や能力に応じて、向上心が報われる取り組みを心掛けたい          |                        | 今後も継続していく                     |
| Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援      |                                                                                                              |                                            |                        |                               |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 |                                                                                                              |                                            |                        |                               |
| 23                        | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>            | 利用者事前表に元づき利用者には見学等をしていただき説明をしていく事を心掛けをしている |                        | 今後も継続していく                     |
| 24                        | <p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>                 | 同上                                         |                        | 今後も継続していく                     |

| 項目                        |                                                                                                              | 取り組みの事実<br>(実施している内容 ・ 実施していない内容)                                                                   | ○印<br>(取組んでい<br>きたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取り組んでいることも含む)   |
|---------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|----------------------------------|
| 25                        | ○初期対応の見極めと支援<br><br>相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。                               | ・地域の介護支援専門員、利用されていたサービス提供の担当者、本人・家族様等のお話しはお聞きしています<br>・単身者や入居待ちが長い方等がほとんどで、在宅経歴を考慮に入れた話し合いにはなっていない  | ○                      | 入居待ちの間も連絡・調整に努める                 |
| 26                        | ○馴染みながらのサービス利用<br><br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。 | ・入居決定前に本人・家族の方に施設の詳細を見ていただいています<br>・入居前に本人様の所に伺って、日常生活の様子やADLの状態を知るように努めています                        | ○                      | 本人や家族の方に昼間施設で体験的に過ごして頂けたらと思っています |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 |                                                                                                              |                                                                                                     |                        |                                  |
| 27                        | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br><br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。                        | ・入居者様の力に応じ施設内の家事を一緒にお手伝いして頂いてます<br>・食事は一緒にテーブルでいただいております                                            |                        | 今後も継続していく                        |
| 28                        | ○本人を共に支えあう家族との関係<br><br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。                                  | ・ご家族方には家族交流会や各種行事に参加していただき交流に努めています<br>・月1回発行する機関誌に添えてご本人の近況・行事の様子等をお知らせしています                       |                        | 今後も継続していく                        |
| 29                        | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br><br>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。                                      | ・来所の遠のいている、ご家族の方には、施設より連絡したり、直接入居者様と電話で話していただく等しています<br>・入居者様とご家族との話しの中に加らせていただき、ご希望や相談に応じるようにしています |                        | 今後も継続していく                        |
| 30                        | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br><br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。                                        | ・以前住んでおられた所等の見学や訪問のお手伝いを致します<br>・日頃の会話の中に盛り込んで忘れしまわないよう配慮してます                                       |                        | 今後も継続していく                        |

| 項目                             |                                                                                                                    | 取り組みの事実<br>(実施している内容 ・ 実施していない内容)                                                                                           | ○印<br>(取組んでい<br>きたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)                  |
|--------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|------------------------------------------------|
| 31                             | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。                                                 | ・行事や日常内でゲームを催したり、一緒に作業する機会や食事と共にする等で、接する機会を多く持てるように努めています<br>・難聴の方には、仲介に入り関わりを築けるよう配慮している                                   |                        | 今後も継続していく                                      |
| 32                             | ○関係を断ち切らない取り組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。                                    | 現在取り組みは行っていない                                                                                                               | ○                      | 今後、必要に応じて訪問や電話連絡等を通して助言・相談に応じる等、関係を切らないようにしていく |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント    |                                                                                                                    |                                                                                                                             |                        |                                                |
| 1. 一人ひとりの把握                    |                                                                                                                    |                                                                                                                             |                        |                                                |
| 33                             | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。                                                      | 入居前後、ご本人とご家族との話し合いや行動の中から、希望を聞いたり・把握し参考材料としている                                                                              |                        | 今後も継続していく                                      |
| 34                             | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。                                                  | ・入居前のアセスメントの段階で、ご本人・ご家族より聞き取りを行っている<br>・入居後もご本人との会話の中から情報を探ったり等と対応している                                                      |                        | 今後も継続して行く                                      |
| 35                             | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。                                                        | ・個別シートを作成し、一日の生活リズムや心身の状態を把握できるように努めている<br>・また、その内容を全体で協議しケアプランの作成等にも役立てている                                                 |                        | 今後も継続する                                        |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し |                                                                                                                    |                                                                                                                             |                        |                                                |
| 36                             | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。 | ・入居者様の担当スタッフを決め、各担当による入居者様のアセスメント・ケアプランに対する提案を基にケアプランを作成している<br>・ケアカンファレンスを行い、問題の抽出・共有を図っている<br>・入居者様の日常生活記録等も参考にモニタリングしている | ○                      | 担当者の役割を強くしていきたい                                |

| 項目                          |                                                                                                                            | 取り組みの事実<br>(実施している内容 ・ 実施していない内容)                       | ○印<br>(取組んでい<br>きたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む) |
|-----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|------------------------|-------------------------------|
| 37                          | ○現状に即した介護計画の見直し<br><br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。 | 現状に変化があった時、新たな問題が生じた時は、再度アセスメントを行い、ケアプランの見直しを行っている      |                        | 今後も継続し対応する                    |
| 38                          | ○個別の記録と実践への反映<br><br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。                                           | 入居者様個々の記録用紙に、日常生活の様子・バイタル・食事・排泄の状態を記録・保存している            | ○                      | 重点日を設け、経時的に詳しく記録してみる          |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援           |                                                                                                                            |                                                         |                        |                               |
| 39                          | ○事業所の多機能性を活かした支援<br><br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。                                                     | 事業所としての多機能性を活かした取り組みは、特に行っていないが、その時に応じて行事活動を通して支援を行っている | ○                      | 必要に応じた活動を検討していきたい             |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 |                                                                                                                            |                                                         |                        |                               |
| 40                          | ○ 地域資源との協働<br><br>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。                                                   | 地域の小中学校の職場体験やボランティア等の施設訪問等、積極的に受け入れ協力している               |                        | 今後も継続する                       |
| 41                          | ○他のサービスの活用支援<br><br>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。                                          | 訴えや必要性に応じて、他のサービスの活用支援を他事業所等と話し合い支援を行っている               |                        | 今後も継続する                       |
| 42                          | ○地域包括支援センターとの協働<br><br>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。                                        | 必要に応じて協働している                                            |                        | 今後も継続する                       |

| 項目 |                                                                                                                                           | 取り組みの事実<br>(実施している内容 ・ 実施していない内容)                                         | ○印<br>(取組んで<br>きたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)                        |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|-----------------------|------------------------------------------------------|
| 43 | <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>                                               | <p>・かかりつけ医への受診支援は行っている</p> <p>・症状により、専門医への受診も行っている</p>                    |                       | 継続し対応する                                              |
| 44 | <p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>                                              | <p>・情報提供等、連携を取れるように努めている</p> <p>・認知症に対する、診断・投薬等の治療も受けている</p>              |                       | 症状の悪化等に注意・観察し支援していく                                  |
| 45 | <p>○看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>                                          | <p>・元看護師がスタッフにおり、アドバイスを仰ぐなど行っている</p> <p>・かかりつけ医院等の看護師との連携も行っている</p>       |                       | 継続し対応し主治医・看護師との情報交換に努める                              |
| 46 | <p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>                      | <p>・入院時、医師・看護師等との情報交換・連絡を密に行っている</p> <p>・面会へ行く時間を作り、入居者様が安心できる様に努めている</p> |                       | 継続し対応していく                                            |
| 47 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>                                   | 現在は、まだ積極的な取り組みは行っていない                                                     | ○                     | 今後、重度化やターミナルケアが必要となってくる状態を想定し、話し合いやご家族の希望を聞いていく様に努める |
| 48 | <p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p> | 研修会に参加する等はしているが、検討・準備までには至っていない                                           | ○                     | カンファレンス等で協議する機会を設ける                                  |

| 項目                           |                                                                                                                    | 取り組みの事実<br>(実施している内容 ・ 実施していない内容)                                                                         | ○印<br>(取組んでい<br>きたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)                                       |
|------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|---------------------------------------------------------------------|
| 49                           | <p>○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p> | 現在まで別の居宅への住み替え例はない。                                                                                       | ○                      | 今後、入居者間のトラブル等で別の居宅へ住み替えすることになった場合、家族、及び本人に関わるケア関係者で情報交換を行い負担の軽減に努める |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援    |                                                                                                                    |                                                                                                           |                        |                                                                     |
| 1. その人らしい暮らしの支援              |                                                                                                                    |                                                                                                           |                        |                                                                     |
| (1)一人ひとりの尊重                  |                                                                                                                    |                                                                                                           |                        |                                                                     |
| 50                           | <p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>                                      | <p>・一人ひとりに気を配り、排泄時、入浴時の声がけ等配慮している。</p> <p>・記録の管理・記入は人目に付かないように配慮している</p>                                  |                        | 今後も継続していく。                                                          |
| 51                           | <p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>                 | 日々の声掛けや難聴がある方には筆談などで意思の疎通が円滑に図れるように対応している                                                                 |                        | 今後も継続していく。                                                          |
| 52                           | <p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>                      | その人の体調や会話・行動の中で、本人の希望を探り出し対応に努めている                                                                        |                        | 今後も継続していく。                                                          |
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 |                                                                                                                    |                                                                                                           |                        |                                                                     |
| 53                           | <p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>                                  | 個々にあった身だしなみを心掛け、必要な物はご本人と一緒に買いに出掛けたり、希望時は本人が望む店へ散髪に行ける様に対応している                                            |                        | 今後も継続していく。                                                          |
| 54                           | <p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>                  | <p>・行事等を通して、場所や雰囲気をかえ食事を楽しんで頂けるよう提供している。</p> <p>・料理によっては、皆で食卓を囲んで作れる料理を考え、準備・後片付けは、危険性が無い物に限り一緒に行っている</p> |                        | 今後も継続していく。                                                          |

| 項目                            |                                                                                  | 取り組みの事実<br>(実施している内容 ・ 実施していない内容)                                   | ○印<br>(取組んで<br>きたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)   |
|-------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|-----------------------|---------------------------------|
| 55                            | ○本人の嗜好の支援<br>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。           | ・おやつ、飲み物等は出来るだけ、カロリーを抑え果物やローカロリーの物を提供している<br>・現在、飲酒・喫煙される入居者様は居られない |                       | 飲酒・喫煙される方が入居された場合、必要に応じ提供等を検討する |
| 56                            | ○気持ちよい排泄の支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。       | 可能な限り、日中は布パンツにパットを使用し、定期的な声掛けやご本人の訴え時にトイレ誘導をしている                    |                       | 今後も継続していく。                      |
| 57                            | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。   | 入浴日は決めているが、一人ひとりの希望や体調に合わせて、入浴日以外でも入浴可能な体制を取っている                    |                       | 今後も継続していく。                      |
| 58                            | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。                    | 個々の睡眠パターンを把握し、夜眠れない方には、日中散歩や軽い運動等をし、夜間休めるように対応している                  |                       | 今後も継続していく。                      |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |                                                                                  |                                                                     |                       |                                 |
| 59                            | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。 | ・掃除や洗濯物たたみ等、軽作業の手伝いをしていただいている<br>・外に花を観に行ったり、日光浴等で気分転換を図っている        |                       | 今後も継続していく                       |
| 60                            | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。 | 管理可能な方は、ご自分で財布を持っておられ、希望時は職員やご家族と買い物へ出掛けたりされている                     |                       | 今後も継続していく                       |

| 項目              |                                                                                          | 取り組みの事実<br>(実施している内容 ・ 実施していない内容)                                        | ○印<br>(取組んで<br>きたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)        |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|-----------------------|--------------------------------------|
| 61              | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。                           | 天気の良い日は、出来るだけ散歩やドライブへ出掛ける機会を設けている                                        |                       | 今後も継続していく                            |
| 62              | ○普段行けない場所への外出支援<br>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。        | 個別対応はしていないが、行事計画を立て、買い物や温泉等に行っている                                        | ○                     | 個別の希望やご家族にも声を掛け、一緒に出掛けられる機会を計画していきたい |
| 63              | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。                                  | ご本人の訴え時、希望に沿える様に対応している                                                   |                       | 今後も継続し関係が途切れないように配慮する                |
| 64              | ○家族や馴染みの人の訪問支援<br>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。                   | 気軽に来訪されています                                                              |                       | 今後も継続していく                            |
| (4) 安心と安全を支える支援 |                                                                                          |                                                                          |                       |                                      |
| 65              | ○身体拘束をしないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | ・身体拘束について全ての職員が理解している<br>・現在1名の方に対し、ご家族の了承の下、やむを得ない時は拘束することを説明、理解して頂いている | ○                     | 身体拘束を必要としないケアを行っていただけるように、日々努力・協議する  |
| 66              | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。                  | ・危険の無い範囲で、鍵を掛けないよう努めている                                                  |                       | 今後も継続していく                            |

| 項目 |                                                                             | 取り組みの事実<br>(実施している内容 ・ 実施していない内容)                                                           | ○印<br>(取組んでい<br>きたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)         |
|----|-----------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|---------------------------------------|
| 67 | ○利用者の安全確認<br>職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。                | 入居者様、一人ひとり合わせ、プライバシーに気をつけ対応している                                                             |                        | 今後も継続していく                             |
| 68 | ○注意の必要な物品の保管・管理<br>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。        | 一人ひとりの状態に応じて、管理・保管方法を検討し実施している                                                              |                        | 今後も継続する                               |
| 69 | ○事故防止のための取り組み<br>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。      | ・転倒予防には、必要な方には歩行の見守り、手すりの設置と廊下には、物を置かないよう実施している<br>・予測できない事故発生の際はひやりハット・事故報告書を活用し事故防止に努めている |                        | 今後も継続する                               |
| 70 | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。               | 現在、訓練等を行っていないが、緊急時対応の連絡網等の準備はしている                                                           | ○                      | 今後、消防署の協力を得て講習を行っていただき、急変や事故発生時に備えて行く |
| 71 | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。 | 年2回避難訓練を実施し、また自治会主催の避難訓練にも参加している                                                            |                        | 今後も継続していく                             |
| 72 | ○リスク対応に関する家族との話し合い<br>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている。 | 必要に応じ、施設へ来ていただいたり、来訪困難時は電話にて説明・報告している                                                       |                        | 今後も継続していく                             |

| 項目                         |                                                                                     | 取り組みの事実<br>(実施している内容 ・ 実施していない内容)                                                                                                                 | ○印<br>(取組んでい<br>きたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)             |
|----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|-------------------------------------------|
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |                                                                                     |                                                                                                                                                   |                        |                                           |
| 73                         | <p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。</p>      | 毎朝、一人ひとりバイタルチェックを行い、状態観察に努めている                                                                                                                    |                        | 今後も継続していく                                 |
| 74                         | <p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬の管理は職員が行い、内服に変更があった場合は、申し送り各自、処方箋を確認する等理解に努めている</li> <li>・自力で服薬できない方には、介助しその際、名前の確認を繰り返し行っている</li> </ul> |                        | 今後も継続していく                                 |
| 75                         | <p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。</p>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・排便チェック表を作成し、日々の状態確認に努め、食事内容に野菜を多く取り入れ、水分の摂取状況も確認し対応している</li> <li>・軽い運動(ラジオ体操等)日課にしている</li> </ul>          | ○                      | 水分摂取に際して、お茶を好まない方にはゼリーや味の付いた飲料水等で補給していただく |
| 76                         | <p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。</p>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の洗面時、就寝前に歯磨き・うがいを行っている</li> <li>・自立していない方には、職員が支援している</li> </ul>                                         |                        | 毎食後の実施に向け、促していく                           |
| 77                         | <p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別シートに毎食の食事量と残した物の内容を記入している</li> <li>・水分量も同様に時間帯別に何をどれだけ飲んだかを記入している</li> </ul>                            |                        | 今後も継続していく                                 |
| 78                         | <p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウィルス等)</p>        | マニュアルを作成し、周知徹底、実行している                                                                                                                             |                        | 今後も継続し、早目の対応・対策を行う                        |

| 項目                                        |                                                                                                                       | 取り組みの事実<br>(実施している内容 ・ 実施していない内容)                                                                                                         | ○印<br>(取組んでい<br>きたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|--------------------------------|
| 79                                        | <p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・調理用具等、毎使用後に殺菌消毒を行っている</li> <li>・台ふきんや手拭き様のおしぼりも毎回、消毒している</li> <li>・賞味期限には、特に気を遣い管理している</li> </ul> |                        | 今後も継続する                        |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり<br>(1)居心地のよい環境づくり |                                                                                                                       |                                                                                                                                           |                        |                                |
| 80                                        | <p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・花壇の整備、鉢植え等で季節感を出せるよう工夫している</li> <li>・階段やスロープ付近は、移動の邪魔にならない様に注意している</li> </ul>                     |                        | 今後も継続する                        |
| 81                                        | <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> | 季節ごとにホーム内の飾りつけを替えたり、季節の花を置いたりしている                                                                                                         |                        | 今後も継続する                        |
| 82                                        | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>                              | 思い思いに過ごしていただける様、日々配慮している                                                                                                                  |                        | 今後も継続する                        |
| 83                                        | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅に居た頃と同様の家具等を使用し、落ち着いて生活できる様に努めている</li> <li>・身体状況の変化等にも対応し配置替えを行い気を配っている</li> </ul>              |                        | 今後も継続する                        |
| 84                                        | <p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがなく、換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>                          | 天候や温度に応じて、換気をこまめに行い、臭いに対しては不快に感じない程度の芳香剤等を使用し対応している                                                                                       |                        | 今後も継続する                        |

| 項目                      |                                                                          | 取り組みの事実<br>(実施している内容 ・ 実施していない内容)                                                               | ○印<br>(取組んでい<br>きたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|--------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|--------------------------------|
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり |                                                                          |                                                                                                 |                        |                                |
| 85                      | ○身体機能を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。 | ・廊下やトイレ内に手すりを設置、浴室や玄関にはすべり止めを敷く等して安全に過ごせるように努めている<br>・靴等は、ご本人合ったものを用意していただくか、変わりに購入するなどして対応している |                        | 今後も継続して行く                      |
| 86                      | ○わかる力を活かした環境づくり<br>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。           | 個々の能力に応じた役割等をアセスメントし、声掛けやお手伝いすることで対応している                                                        |                        | 今後も継続して行く                      |
| 87                      | ○建物の外回りや空間の活用<br>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。                   | 季節の花を花壇に一緒に植えたり、目に付くところへ置いたり、活動や声掛けの中で工夫している                                                    |                        | 今後も継続して行く                      |

| V. サービスの成果に関する項目 |                                                 |                                                                                                                                                |
|------------------|-------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 項目               |                                                 | 取り組みの成果                                                                                                                                        |
| 88               | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる                     | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者<br><input type="radio"/> ②利用者の2／3くらい<br><input type="radio"/> ③利用者の1／3くらい<br><input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない |
| 89               | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                        | <input type="radio"/> ①毎日ある<br><input type="radio"/> ②数日に1回程度ある<br><input type="radio"/> ③たまにある<br><input type="radio"/> ④ほとんどない               |
| 90               | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                           | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者<br><input type="radio"/> ②利用者の2／3くらい<br><input type="radio"/> ③利用者の1／3くらい<br><input type="radio"/> ④ほとんどいない    |
| 91               | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている                | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者<br><input type="radio"/> ②利用者の2／3くらい<br><input type="radio"/> ③利用者の1／3くらい<br><input type="radio"/> ④ほとんどいない    |
| 92               | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている                          | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者<br><input type="radio"/> ②利用者の2／3くらい<br><input type="radio"/> ③利用者の1／3くらい<br><input type="radio"/> ④ほとんどいない    |
| 93               | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている                    | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者<br><input type="radio"/> ②利用者の2／3くらい<br><input type="radio"/> ③利用者の1／3くらい<br><input type="radio"/> ④ほとんどいない    |
| 94               | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている           | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者<br><input type="radio"/> ②利用者の2／3くらい<br><input type="radio"/> ③利用者の1／3くらい<br><input type="radio"/> ④ほとんどいない    |
| 95               | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族<br><input type="radio"/> ②家族の2／3くらい<br><input type="radio"/> ③家族の1／3くらい<br><input type="radio"/> ④ほとんどできていない    |

| V. サービスの成果に関する項目 |                                                          |                                                                                                                                                |
|------------------|----------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 項目               |                                                          | 取り組みの成果                                                                                                                                        |
| 96               | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                         | <input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように<br><input type="radio"/> ②数日に1回程度<br><input type="radio"/> ③たまに<br><input type="radio"/> ④ほとんどない               |
| 97               | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。 | <input type="radio"/> ①大いに増えている<br><input type="radio"/> ②少しずつ増えている<br><input type="radio"/> ③あまり増えていない<br><input type="radio"/> ④全くいない        |
| 98               | 職員は、生き生きと働けている                                           | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が<br><input type="radio"/> ②職員の2／3くらいが<br><input type="radio"/> ③職員の1／3くらいが<br><input type="radio"/> ④ほとんどいない    |
| 99               | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                            | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が<br><input type="radio"/> ②利用者の2／3くらいが<br><input type="radio"/> ③利用者の1／3くらいが<br><input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 100              | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                        | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が<br><input type="radio"/> ②家族等の2／3くらいが<br><input type="radio"/> ③家族等の1／3くらいが<br><input type="radio"/> ④ほとんどいない |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

（日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載）